

# WEEKLY NEWS 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ 2011-2012年度

例会日：水曜日  
 第1・第2 夜間・18:30～  
 第3・第4・第5 昼間・12:30～  
 例会場：華月殿 和歌山市屋形町 2-10  
 事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23  
 サイバーリンクス N-4ビル 2階  
 TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200  
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>  
 E-mail : a-rotary@coral.cypress.ne.jp  
 会長：溝落和作 幹事：籠田 弘  
 広報委員：赤在依美 副委員長：郷間博敏



週報  
 通算2003回  
 43号



アユウネツタイラン科  
 常緑多年草 開花期8～9月

本日の例会  
 6月13日(水)  
 18:30～華月殿

ローターソング：四つのテスト  
 行事：年間活動報告① 各委員会

次回の例会  
 6月20日(水)  
 12:30～華月殿

行事：年間活動報告②  
 各委員会

## 先週例会報告

ゲスト・ビジターはございません。

会場監督 中谷敬子

### 会長報告

溝落 和作 会長



- 6月2日(土)次年度クラブ協議会、皆様ご苦労様でした。
- 本日、臨時理事会を開催しました。議題は駒阪ノミニーの病回復の目途がたたないため、早急に会長ノミニーを選出する必要があること。クラブ細則の変更について、理事会に諮り次のように決定いたしました。
- ・会長ノミニーの選出について：本日6月6日(水)の例会に選出方法の発表を行う。6月13日(水)の例会にて、候補者名の発表をおこなう。(指名委員会が指名した会員)自薦、他薦で立候補される方は6月12日(火)までに書面をもって理事会に届けてください。
- 6月20日(水)の例会を臨時クラブ総会として会長ノミニーの選挙を行う。
- ・クラブ細則の変更について。辻本会員、谷口会員(両弁護士)にクラブ細則をわかりやすく見直しを行っていただきたいとお願いしていました。クラブ細則が出来上がり、ロータリー情報・規定委員会で了解をいただき、本日の臨時理事会にて承認をいただきましたので、6月13日(水)例会にて会員皆様に配布させていただきます。6月20日(水)臨時クラブ総会にて皆様の承認をいただきます。
- ・6月20日(水)は臨時クラブ総会を行います。総会の案内を事務局より10日前までに会員皆様に届けさせていただきます。

### 幹事報告

籠田 弘 幹事



- 1) 韓国内 RC との「交流先」「今後交流を計画している先」はとのアンケートに対し両方とも該当無しと返信。
- 2) IM5組 藤井寺しゅらRCの久志本会員の著作がきております、回覧致します。ご覧下さい。
- 3) JC NEWS 回覧致します。ご覧下さい。

### ニコニコ箱

山田さち子 会計



溝落君・中村さん、写真ありがとう。  
 保田君・次年度クラブ協議会を欠席し、角谷大先輩に代わって出席いただき大変すみません。  
 郷間君・竹中君・坂口君・中岡君・赤在君・辻本先生、先日はありがとうございました。  
 山田君・赤井会員、楠見会員 卓話ガンバッテください。  
 谷口君・竹中さん、松浦さん、先日はありがとうございました。  
 ご本人お誕生日お祝い・有本君。

### 《ロータリアンの守るべき道》

⑪ 良いこと、不幸なこと、何かにつけて仲間の会員に、真心で接し喜び合い、慰めあい、援助しましょう。



	ニコニコ	米山奨学金	ローター財団	東南育英会	紀南災害義援BOX
累計	2,279,316	318,000	470,800	11,000	5,000

出席報告	出席者	出席率
会員総数	50名 6/6	35名 71.43%
出席免除会員	2名 5/23	40名 80.00%

### 赤井 誠会員



皆さんは普通に生活をされていて、杭というものに接する機会はあまり多くないと思います。今回は簡単ではありますが、杭の歴史及び種類についてお話をさせていただきたいと思います。

まず、基礎杭とはおもに軟弱な地盤における構造物（一般住宅から高層ビル、橋脚、鉄塔等）の建設において、浅い地盤で構造物を支えることができない地盤の場合に、地中に深く杭を打ち込み構造物を支えるもので、大きく二つの種類に分けられます。

一つは、場所打ち杭と呼ばれ、地盤を掘削しコンクリートを流し込み現場で築造する工法。もう一つは、工場で製造されたコンクリート杭、鋼管杭等を地中に打ち込んだり埋設したり工法です。

現代の抗基礎以前は、木杭を地盤に打ち込む方法は早くから使われておりまして、日本では松杭が使われておりました。松杭は水分があれば通常 50 年～300 年持つと考えられており、昭和の半ばで相次いで解体された鹿鳴館、警視庁、帝国劇場、帝国ホテル、歌舞伎座等の明治時代の有名な建物に使われていました。

現代の杭基礎の歴史としましては、1900 年のパリ万国博覧会が開かれその博覧会の建物の基礎に、コンプレッソル杭という杭が使われました。

この杭は円錐型の重りを高いところから落とし、地中にできた凹みにコンクリートを詰め、さらに重りにより突き固めることにより、土を外側に変位させながら、現場で造成するタイプの杭でした。

この工法は、日本でも早速輸入され 1908（明治 41 年）愛国生命館で最初に使われました。同じ工法をつかって、翌年建てられた近衛師団司令部庁舎は現東京国立近代美術館工芸館として現在の残っており、国の重要文化財に指定されております。

現在、工場で製造されるコンクリート杭や鋼管杭等の既製杭は 20 世紀になると使われ始めるが、日本での実際の普及は戦後の復興とともに、昭和 26 年ごろ以降となります。

またオールケーシング、アースドリル、リバーササーキュレーション工法などの機械式掘削によるクイプの場所打ち杭が昭和 29 年から昭和 37 年の間に導入され、現在の場所打ちコンクリート杭の主要な工法となっています。

現在和歌山駅前の JA ビル、和歌山の裁判所の建て替え工事にて場所打ちコンクリート杭を施工中です。昭和 43 年及び 51 年に制定された騒音規制法と振動規制法により、市街地におけるディーゼルハンマーによる杭打ち作業が事実上不可能になり、それに代わって中堀工法やセメントミルク工法などによる埋め込み杭が登場します。あらかじめ掘削した孔内に工場で製造された既製杭を挿入する工法で現在の迪築構造物の杭基礎の主流となっております。

和歌山市内ではマンションの基礎等によくつかわれており、日赤も約 50m の長さの既製杭と施工いたしました。

昨年は東北地方太平洋沖地震も発生し、この和歌山にも東海・東南海・南海地震の発生する可能性があります。阪神淡路大震災において現在の耐震基準が施行される昭和 56 年以前の建物に被害が集中しておりますので、昭和 56 年 5 月以前に建築された建物をお持ちの方は、耐震診断をすることをおすすめいたします。和歌山市・和歌山県では詰定された耐震診断士が木造住宅の耐震診断を無料で行ってくれますし、耐震改修工事に要する費用の一部で補助金も出ますので一度お考えください。





「みなさま、こんばんわ。楠見です。お仲間に入れて頂いてはや1年になります。いつもほんとうにありがとうございます。小さい頃から私はアメリカに縁があり、私にとっての英語とは、教科書とペンで身につけたものではなく、日常の中で自然と身につけたものです。それぞれ日本語、英語、と別に頭の中で区別していたわけではなく、またそれぞれが同じ強さで頭の中に存在してたわけでもなく、場面 場面、その時々

によって、日本語と英語を使い分けていた気がします。そんな中での失敗談ですが、私は子供の頃「白黒テレビ」を「黒白テレビ」と思っていました。というのも、英語では black and white と、黒を先に言いますので。あるとき、それは違うよと指摘されるまでそう思い込んでいました。

言葉は「道具」だと私は思っています。使わなければ使い方が下手になります。なくても違うものがあれば無い事に平気になります。日本での小学校、中学校と普通に育って行くうち、英語をすっかり使わない毎日になり、英語という道具をすっかり頭のなかから捨てていました。中学校で習い始める英語も文法は大嫌いでしたし。どうして一番最初に習う英語が this is a pen なのか良くわからなかった。それと、教科書を音読させられるのがとても嫌でした。カタカナ英語の発音と、自分の耳に慣れてしまっていた発音が全く違うので、いわゆる皆から浮いてしまって嫌でした。いいカッコしてるとか、わざととか思われましたし。その後、学校でも英語を専攻しなかったし一時通ったカリフォルニア大学でも専攻は別のものでした。京都の国際会議場である国立京都国際会館に縁あって勤め出して、やっとまた英語とつき合うようになりました。そこで国際会議通訳の専門会社であるインターオオサカの同時通訳者の働きを身近に見て、私たち職員と同じように英語を使っても同時通訳者は単なる機械でした。感情を一切入れ込まず言葉と言葉をつなぐだけ。私は、そうではなくて、他の国の言葉を身に付けると言う事は、その国の文化、習慣を取得してこそ始めて成り立つと思っています。英語にならない日本語がありますし、日本語にならない英語も反対にあります。例えば、お疲れさま、お先に失礼等々。それは単に言葉として存在しないのではなく、もともとその国の国民の感覚、意識のなかに存在しない「概念」なのです。

日本人同士で母国語日本語を使っただけのコミュニケーションが苦手な方が、英語を使っただと外国の方と上手にコミュニケーションを取れるかといえば、そうではないでしょうし、それは日本語だからとか英語だからという理由ではありません。日本語で歌を歌うのが下手な私が、英語の歌でも下手なのと同じ事です。人との上手なコミュニケーションはその人個人の人間性や心のオープンさにその秘訣があるのではと思います。アメリカ人に限りの話ですが、アメリカ人はどこでも議論します。ニュースとかでよく街角での議論を目にされる事が多いと思います。というのも、それは「アメリカ人」というくくりでは同じですが、人種的にはいろいろあるアメリカという国だからこそその光景です。同じアメリカ人同士でも、相手が自分と違う人種だと話をしないとその対応策がわかりません。

自分はあなたの敵ではないという事を言葉を話す事で相手に伝えなければなりません。単一民族の日本にはない概念ですよ。

主人がフランス系で奥さんがイギリス系というのなんかざらです。だから話をしないと意思が通じない。日本人同士のご夫婦のように「あ・うん の呼吸」なんて存在しません。亭主関白、夫唱婦随という言葉もないです。そんなの期待したら離婚原因になって慰謝料をがっぽり取られます。アメリカの店舗でよく店員の態度の悪さに腹を立てられた経験のある方も多いと思います。日本人は、こっちはお金を払う客なのに。と憤慨しますが、でもあちらに言わせたら、こちらは物を売るプロ。接客態度をお金で売ってはいないという概念です。

なにかと自分と文化や概念がちがうと違和感を感じますが、それを上手につなぐのがその国の言葉だと思いますし、言葉を道具と考えれば使いこなす為には使うしかない。

どうか機会があればどんどんいろんな言葉でのコミュニケーションを楽しんでください。

2012-13年度 役員・理事・各委員長 クラブ協議会 2012年6月2日(土) 18:30~



「最終親睦家族例会のご案内」 親睦委員会  
日時：6月29日(金) 18:30~20:30  
場所：ルミエール華月殿 7F  
今期、最後の例会です。皆様のご参加お待ちしております。

